

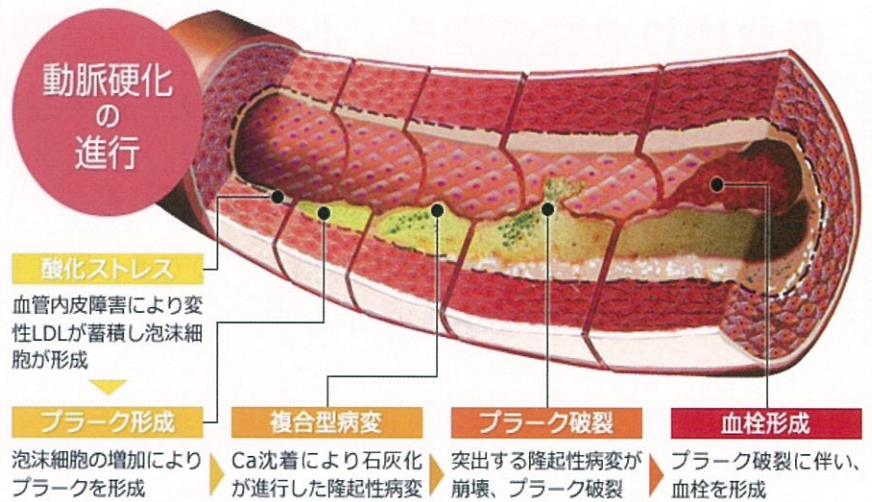
★採血だけの新しいオプション検査★

脳梗塞・心筋梗塞発症リスク検査『LOX-index[®]』

このような方にお勧めです

- **血縁家族に脳梗塞・心筋梗塞にかかった人がいらっしゃる方**
- **血圧、LDLコレステロール、血糖値が高めで動脈硬化が気になる方**
- **40歳以上で、喫煙している方・肥満が気になる方**

動脈硬化の進行から
将来の脳梗塞、
心筋梗塞の発症までを
予測できる
新しい血液検査です。



LOX-index[®] (ロックスインデックス) とは

動脈硬化は自覚症状がないまま進行し、ある日突然脳梗塞・心筋梗塞を発症してしまう怖い病気です。ロックスインデックスは、血液中の超悪玉コレステロール(LAB)とその担い手であるsLOX-1を測定・解析することで**将来の脳梗塞・心筋梗塞の発症リスクを評価する血液検査**です。検査結果で、脳梗塞・心筋梗塞のリスクがあれば予防対策を取って、早い段階からリスク回避していただけます。

結果報告書 (サンプル)

- 採血だけの簡単な検査
- 検査価格：12,000円 (税別)

<検査に関する注意点>

- ◇ 妊娠中は検査をお受けできません。
- ※ 妊娠中の方は数値が高くでる傾向があります。
- ◇ 風邪、関節リウマチの方は、検査数値が高くなる可能性がございます。
- ◇ 食事制限などはありません。

LOX-index[®] 脳梗塞・心筋梗塞発症リスク検査報告書

★氏名 demo ★受診日 2014/12/24
★カルテID 000001 ★性別 男性 ★年齢 45

総合評価グラフ

脳梗塞・心筋梗塞発症リスクは **中** です。

★ 今回の結果 (中)
★ 前回の結果 (中)
★ 前々回の結果 (中)

LAB (pg ct/ml) 2014/12/24 2014/11/24 2014/10/24

LAB 4.3 4.1 3.9

総合評価コメント

超悪玉コレステロール(LAB)と超悪玉コレステロールの担い手(sLOX-1)がともに少し高めな結果で、血管障害リスク(血管の脆性)が進行しやすい方向に傾いていると考えられます。高血圧、高血糖、肥満、喫煙などの動脈硬化リスクを持っている人は、治療や生活習慣の改善によってリスクを抑える必要があります。LABは体内で活性酸素が産生することで、悪玉コレステロール(LDLコレステロール)が酸化し生成されます。これは高血圧、運動習慣によって改善できますので、生活習慣を見直しましょう。状態改善のために、一年後の再受診をおすすめします。

個別時系列データ

sLOX-1

LAB

LOX-index

結果

超悪玉コレステロールの担い手sLOX-1は、血液中から脂質を取り除く働きをしています。血管にダメージがあるとsLOX-1の数値が上昇します。今回の結果は、前回と同様にsLOX-1の数値が少し高い状態です。sLOX-1は血液中から脂質を取り除く働きをしていますが、酸化LDLなどによって阻害される可能性があります。この状態を改善するためには、ストレスを避けることが必要です。メタボリックシンドロームの改善にも注意して下さい。食を中心とした生活習慣の改善をお願いします。

超悪玉コレステロール(LAB)は、悪玉コレステロールであるLDLコレステロールが酸化し、ヤセついた状態を示します。LOX-indexは超悪玉コレステロールの酸化状態を示す指標です。このヤセついたLDLコレステロールは動脈硬化を引き起こす原因となります。今回の検査結果では、前回より改善が見られますが、LABの数値がまだ少し高い状態です。高血圧改善を促すために、生活習慣を見直し、ストレスを避け、また今年、加齢などによりリスクが上がる可能性が高いので、生活習慣の改善などでLABを下げるよう心がけて下さい。

「LOX-index」は、脳梗塞・心筋梗塞発症リスクを評価する最新の検査です。この結果は、将来の脳梗塞・心筋梗塞発症リスクを大きく左右します。今回の検査結果では、前回より少し改善が見られますが、前回は中程度と評価された。高血圧改善を促すために、生活習慣を見直し、また今年、加齢などによりリスクが上がる可能性が高いので、生活習慣の改善などでsLOX-1とLABを下げる必要があります。よりよい生活習慣とストレス解消を心がけて、リスクの軽減を目指しましょう。

脳梗塞・心梗塞のリスクを知る

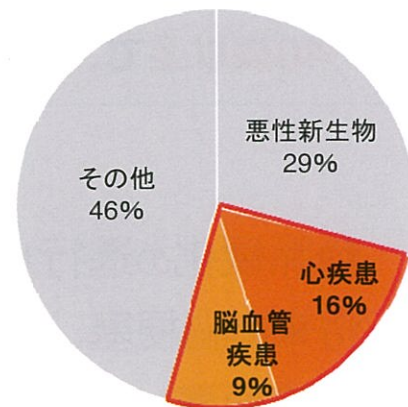
脳梗塞・心筋梗塞を“予防”するには？

平成24年の統計データによると、日本人の死因第2位の心疾患（心筋梗塞や狭心症など）と第4位の脳血管疾患（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血など）を合わせると、約4人に1人が動脈硬化が一因とする疾患で亡くなっています。

働き盛りを突然襲う、心筋梗塞・脳梗塞

また、記憶に新しいところでは、30代のサッカー選手の急死、30代の女性アナウンサーや40代の女優の入院など、若年化も進んできています。特に脳梗塞は、日本人の寝たきりの原因第1位で、一命を取り留めても重い後遺症が残るものです。脳梗塞、心筋梗塞を防ぐためのまずは第一歩として、ご自身のリスクを知るところから始めてみましょう。

日本人の主要死因とその割合



心臓・脳血管疾患計 25%

厚生労働省「平成24年人口動態統計」より

生活習慣・動脈硬化リスクセルフチェック

- 週に5日以上お酒を飲む
- 胸がギュッと締めつけられる感じがする
- タバコを毎日吸う
- 定期的に運動をしていない
- 以前より物忘れをすることが多くなった
- 親族に心臓病や脳卒中で倒れた人がいる
- インスタント食品や脂っこい食事をよくとる
- せっかちでイライラすることが多い
- 最近、時間に追われている感じがする
- 手足の脱力感やしびれを感じることもよくある

6つ以上該当する方…

危険な状態です。既に小さい梗塞や血管の狭窄が起こっている可能性があります。早めの検査で血管の状態を知ることをおすすめします。

3つ以上該当する方…

動脈硬化のリスクがあります。生活習慣の見直しで改善可能ですが、1度検査で血管の状態を確認することをおすすめします。

該当が2つ以下の方…

動脈硬化のリスクは少ない状態です。今後も健診や人間ドックを定期的に受診し、健康に心がけてください。

ご予約に関するお問合せ

医療法人成春会 花輪クリニック

〒273-0005 千葉県船橋市本町1-3-1 船橋フェイスビル8階

☎047-422-2202

受付時間：月-土 9:00 - 17:00